

— 在外教育施設を活用した戦略的なグローバル教師の育成 —

派遣前



派遣中



派遣後



〔現状・課題〕

- ・教育委員会からの推薦数減(教育委員会としての推薦メリットが少ない)
- ・平成19年度から退職教師を派遣する「シニア枠」を創設(令和4年度は372名/1,327名)
- ・平成29年度応募から「姉妹都市交流枠」を創設

〔現状・課題〕

- ・平成29年度から特色あるプログラムを開発する「高度グローバル人材育成拠点事業」開始
- ・令和4年度から在外教育施設における教育の内容及び方法の充実強化を講ずるため「在外教育施設重点支援プラン」を開始

〔現状・課題〕

- ・帰国教師を面接選考試験官や研修講師、巡回指導員等として活用
- ・都道府県毎に企画される帰国教師報告会や国際理解教育研修などの講師として活躍
- ・帰国後の人事配置や評価への活用不十分

戦略的な人材確保・人事配置

- 小学校教師の英語力強化を目的とした優先配置(補習校と日本人学校への若手教師併任派遣)
- 外国人児童生徒等の増への対応強化を目的とした優先配置(ポルトガル、中国、フィリピン等)
- オリンピック・パラリンピックのホストタウンとして交流を図っている国や地域への優先配置
- 特色ある在外教育施設への配置を自治体等が希望できる公募制度の創設
- 国内講師や現地学校採用教師などの教師予備軍を派遣する「プレ枠」の創設
- 教育実習先として日本人学校への受入れを可能とする制度の創設



戦略的なグローバル教育活動

- 「高度グローバル人材育成拠点事業」※の積極的発信
- ※「高度グローバル人材育成拠点事業」(2017～)
 - ～令和4年度取組～【海外子女教育振興財団委託】
 - ・グローバル人材の基礎的資質形成プログラム開発(香港日)
 - ・日本人学校日本語指導プログラムの開発(台北日)
 - ・補習校日本語能力向上プログラム開発(ダラス補)
 - ・日本文化発信拠点プログラム開発(西大和、アスンシオン)
 - ・特別支援教育遠隔指導プログラム開発(2018～)(特別支援教育総合研究所)
 - ・ICTを活用した遠隔での教育の質向上プログラム(2019～)
- 在外教育施設重点支援プラン(2022～)
 - ・「教育改革プログラム」の特色ある研究開発
 - ・「教育DX推進プログラム」の特色ある研究開発
 - ・「グローバル連携拠点形成プログラム」の特色ある研究開発



戦略的な帰国教師の活用促進

- 帰国教師を積極的に活用するためのネットワーク構築
- 文部科学大臣優秀教職員表彰において、在外教育施設での派遣経験を考慮して選考
- グローバル教師やキャリアパスに焦点を当てた「トビタテ! グローバル教師フォーラム」を開催(2018/8/20)
- 派遣教師の経験を国内で活用するための課題について考える「第2回トビタテ! グローバル教師フォーラム」を開催(2019/8/5)
- 帰国教師の能力や知識、経験を国内の学校において還元・共有できるグローバル教師ポータルサイトを開設。
- 帰国教師による「今後の日本の教育とグローバル教師の役割」についてオンラインディスカッション

